

## 参加報告書

- 参加プログラム：フランス語現地実習・トゥレーヌ学院
- 学部・学科：人文学部 英語英米文化
- 留学時の学年：4年



「フランス語を学ぶ」「フランスに住む」「英会話すること」

私はこの3つを目的に留学しました。現地の学校では、各国から生徒が来ているので公用語は英語でした。英語とフランス語の両方を身に着けたい私にとってはぴったりの留学先でした。最初はトゥールと聞くとパリの煌びやかなイメージとは違って田舎を想像していましたが、いざ街へ着いてみると街の綺麗さに圧巻されました。ザ・ヨーロッパの日常を体感したい人にとっては打って付けの街です。パリもいいですが、トゥールは観光客も多くなく、穏やかな時間が流れる本当に素敵な街です。

ホームステイ先へ到着した夜はマダムの言っている言葉も理解できず、「本当にここで一か月も生きていけるのか」と少し不安がよぎりました。しかし、次の日にはマダムやファミリーの温かさに包まれ、食事も絶品で本当に素敵なホームステイになりました。2週間を過ぎた頃、マダムの話すフランス語が聞こえるようになった時は驚きました。日本に戻って仏検を受け直すと全く聞こえなかったリスニングが驚くほど聞こえるようになりました。



学校も、最初は週5も勉強できるのか正直不安でした。しかし、机の上



だけの勉強ではなく、映画を見たり、街へ出てインタビューしたり、美術館へ行ったりと楽しく勉強することができました。休み時間も長く、20～30分ほどしっかり休憩できる仕組みもメリハリがつくので良かったです。何より、校舎が素敵なので毎日通うのが楽しみでした。

留学中は積極的に話しかけ、学校やステイ先でたくさんの友人を作ることができました。様々なルーツを持つ彼らと出会えたことは本当に幸運でした。どの瞬間も印象に残っていますが、ここで出会った友人と出かけたり、ステイ先のファミリーと団らんを楽しむ時間が一番心に残っています。今でもよく、ふと留学中の思い出に浸って幸せな時間だったなと心から思います。最初はホームステイにあまり良い印象がなかったり、お金の問題などでたくさん悩みましたが、決断して良かったと思います。

今後は英語の勉強と並行しつつ、仏検のより高い級に挑戦していく予定です。この経験を通して、海外で暮らすことや海外へ行くこと自体へのハードルが下がったので、将来の選択肢が広がりました。ご縁があれば、フランスでお仕事ができればいいなと思っています。